

番号	氏名	抱負
201	根岸 徹	現在、本学会にて標準・規格委員会乳房用X線装置班長を務めており、いままでJIS原案作成に携わり、放射線機器の安全や標準化について研鑽を積んでまいりました。さらに、平成24年に開催された第40回秋季学術大会と平成28年に開催された第72回総会学術大会では実行委員長として得た経験を活かし、皆様の情熱とアイデアを融合させて頂き、本邦の放射線技術学の益々の発展に寄与できないかと考え立候補させて頂きました。
202	根本 広文	より良い医療のために、そして安全で質の高い放射線技術の提供ならびに放射線による医療被ばくの低減を促進し、職業および研究の倫理観を備えた診療放射線技師の育成に微力ながら貢献していきたい。関東支部理事としての経験を活かし、学会が目指す国際化さらにグローバル化に向けた運営に非力ながら協力させて頂き。今後も会員増加と地位向上を目標に頑張りたい。
203	根本 幹央	放射線技術学の発達はめざましく、がんの診断・治療は飛躍的な進歩をとげています。私は放射線治療分野に従事していますが、近年は特に細分化・専門化が進み、深い知識やスキルを求められる事を実感しています。学会の活動事業による知識・技術の習熟は、安全な医療の実現だけでなく、地域医療の均てん化など、医療を受ける人達に恩恵をもたらすと思います。代議員になる事で、事業活動への微力になればと思っています。
204	能登 公也	
205	信田 修彦	日々進歩を続け、対応する範囲を広げる放射線技術学の発展により、これまで以上に安全で精度の高い診断や治療が行えるようになると思います。それらに対して、研究発表会の開催、学会誌の刊行など、様々な取り組みを通し寄与している日本放射線技術学会の活動に貢献したいと思います。
206	野水 敏行	多くの学会員とともに放射線技術学関連の更なる研鑽を進め、撮影のためのエビデンスの構築とその普及を目指したい。特に若い研究者や地方の研究者、および小規模施設の研究者への協力や支援を検討していきたい。また研究活動の一助として、関連研究者同士の「交流」を演出する役割が出来ればと考える。そして今後の学会の方向性や運営に関して先輩諸兄等とともに良き検討を行い、学会の発展のために寄与していきたいと強く考える。
207	羽手村 昌宏	九州支部の理事をさせて頂いております。放射線技術学会の状況や学術活動について地方の会員へ積極的に広報し、地域の若い会員が学会の活動に参加しやすい環境を整え、会の活性化や発展に寄与すべく努力したいと考えております。
208	花岡 宏平	現在、放射線技術学会の核医学部会委員として活動しています。よろしく願いたします。
209	林 直樹	
210	林 則夫	私は現在、撮影部会及び編集委員会の委員を任されています。臨床で培った臨床技術とMR専門技術者であることを生かしてMRIの撮像技術の発展と普及のために適したセミナーや講演などを部会の一員として企画、立案しています。また関東部会の一員として部会での活動も行っています。臨床現場での放射線技術学を本学会を通して、より発展していけるよう貢献したく代議員へ立候補いたします。